

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	基礎看護学		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	基本技術 I (環境調整)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	20 <small>時間(単位)</small>
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限	前期	教室名	1年生の教室及び実習室
担 当 教 員	溝辺ゆかり	実務経験と その関連資格	看護師として病院等で勤務			
《科目目標》 1.人間の健康に影響を及ぼす環境について理解できる。 2.援助の原理原則を基本に安全・安楽な援助実践を思考できる。 3.対象に応じた看護実践ができる力を養う。						
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】終講試験(80%)、課題・授業態度(20%)で総合的に評価する。 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満する。 【担当配点】65点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 ナーシンググラフィカ基礎看護学③ 基礎看護技術 MCメディカ(デジタル版) 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院(デジタル版) ナイチンゲール看護覚え書(第8版)現代社						
《授業外における学習方法》 ・講義、演習は予習を前提として行うため、事前課題を確認して必ず取り組んだうえで授業に臨む。 ・事前に動画を視聴することで実践のイメージを付けて演習に臨む。演習後には技術ノートに追加修正をし自己の技術ノートを作成する。						
《履修に当たっての留意点》 ベットメイキング、環境整備の技術習得には、計画的で自主的な技術練習が必要です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	環境の意義と看護、患者を取り巻く病床環境について理解を深める	教科書 P.30-35	ipadに騒音測定のア プリを入れておくこと 使用教材の指定の ページを一読して おく	
		各コマにおける授業予定	環境と人間・看護について 環境を整える技術(環境整備) 病室の環境と病床内環境			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者を取り巻く病床環境について理解を深めるについて理解を深めることができる	教科書P.30-35	使用教材の指定の ページを授業前に 一読しておく 環境整備について ルーズリーフに技術 ノートを作成しておく	
		各コマにおける授業予定	環境を整える技術(環境整備) 病室の環境と病床内環境			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	患者を取り巻く病床環境について理解を深めることができる	教科書 P.30-41 基礎・臨床看護技 術 P.2-5	技術ノート提出	
		各コマにおける授業予定	環境を整える技術(環境整備)			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	快適な環境を整えることができる	教科書P37-38 動 画視聴。基礎・臨 床看護技術 P.6- 18	事前に動画を視聴 し、技術ノートを作 成する	
		各コマにおける授業予定	病床を整える技術 ベッドメイキング			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	快適な環境を整えることができる	教科書P37-38 動 画視聴。基礎・臨 床看護技術 P.6- 18	事前に動画を視聴 し、演習後に技術 ノートを作成する	
		各コマにおける授業予定	病床を整える技術 ベッドメイキング			

